

## 01

## Latest film by director Gakuryu Ishii “Self-Revolutionary Cinematic Struggle”

### 石井岳龍(「シャニダールの花」「パンク侍、斬られて候」)監督最新作 『自分革命映画闘争』

3月18日[土]神戸・元町映画館にて先行公開

3月25日[土]渋谷・ユーススペースにて劇場公開

石井岳龍 | ISHII Gakuryu | 映像表現学科 教授

#### Introduction

『パンク侍、斬られて候』(2018年)以来、5年ぶりとなる石井岳龍監督最新作が遂に劇場公開。17年間に至る神戸芸術工科大学での映画創作研究活動の集大成にして原点たるハードコア精神に立ち返った石井岳龍最大の問題作にして意欲作が遂にベールを脱ぐ!

冒頭から突然の失踪!強烈な印象を残す「石井岳龍教授」を監督本人が演じ、さらに制作スタッフ全員がカメラの前に立ち、フィクションとドキュメントがせめぎ合っながら、映画を学び、作り上げていく混濁したプロセスそのものを、石井岳龍の脳内電気信号純度100%で出力した! 40数年の監督史において常に表現のフロンティアを切り開いてきた石井岳龍による厳格な実験精神と秘めた獍猛さが結実したISHII映画の到達点たる2時間45分のインナートリップ!



映画監督石井岳龍は、40数年に渡り様々な映画を監督し発表して来ました。今回は17年に至る神戸芸術工科大学での映画創作研究活動の集大成として、同僚の武田助教(撮影・編集)谷本助手(美術)勝本講師(音響音楽)を中心に、映画コースの在校生、卒業生、関係者で、スタッフと全出演者すべてを兼ねる実験的な劇映画の創作に挑みました。

今回の作品は、「映画は、時代とそこに生きる人間の外面内面を、詩的喚起力や神話的作用を用いた臨場感あふれる“ものがたり”に昇華させ、不特定多数の観客が共に内的対話体験をすることで、その一人一人の内面に照らし出される共通無意識的問題や危機感をあぶり出し、それに対応する新たな認識や視点の発芽を願う創作表現である」という石井の基本指針を元に、映画表現の始原の表現力を探求しつつ、その無限の可能性をさらに止揚して未来に繋げることを目標とした意欲的な創作表現に結実しています。現代日本社会、神戸芸術工科大学で、今現在、映画を創ろうと集団で苦闘している者たちの、複雑で多様な外面と心の内面の様相を、私たちが持ちうる可能な限りの映画的手法を駆使して描く、フィクションとドキュメントがせめぎ合う個や群像の自画像、今の私たちにしか創造し得ない挑戦的な冒険映画です。スポンサー無しの完全自主製作にて創作されました。

1: メインビジュアル

## Story

神戸芸工大映画コース教授でありながら、自らの思想「自分革命闘争ワーク」の実践に駆られ狂的狀態に陥り、突然失踪してしまう石井岳龍。

彼が残した「個の想像力や認識の拡張、意志の強化を目指す内意識革命の為のワークテキスト」の扱いに、大学同僚の武田助教、助手谷本は困惑。葛藤後、任意の学生とワークの実践を試みる選択をし、同時に武田は失踪した石井の影を追い、やがてそれは謎の洞窟探検にまで至ることになる。学生たちはそれぞれが選択したテキストの実践をすることによって、まるで映画の中のような拡大した想像力と意識拡張の迷宮世界に迷いこむ。彼らはこの体験を通し、自分たちの意志・想像力・認識を狭め拘束している目に見えない影の圧力の存在や自分たちを覆う閉塞感、無力感、孤立感に気づきはじめ、武田助教も、石井の影が残された洞窟捜索が映画における闇の狂気や光の始原力に至る気づきに繋がる事を体感してゆく。だが失踪した当の石井は、洞窟を抜けた山奥で実践していた究極ワークの最中、象徴的な影の圧力の存在にあっさりと惨殺される。が、その映像はストップされ、一転して別現実のドキュメントが始まってゆく。

映画「自分革命映画闘争」を武田と編集しながら作品の方向性に混乱し苦悩する監督である石井教授。彼は、この後の撮影での脚本意図を理解できない学生を説得しながら自分の困難を隠してリハーサルに打ち込むことで、失速した作品製作の事態の打開と作品の再構築に闘志を燃やす。しかし、突然、未曾有のコロナ禍が巻き起こり、それはこの撮影にも襲いかかり、大学の閉鎖や課外活動の禁止も発生し、石井はいよいよ制作崩壊のピンチに陥った…。

石井岳龍 | ISHII Gakuryu (旧名: 石井聰互 | ISHII Sogo)

1957年福岡市生まれ。映画監督。66歳。1976年日本大学芸術学部映画学科入学後、8mm映画「高校大パニック」を監督。以降、様々な映画、音楽映像作品等を手かける。2006年より神戸芸術工科大学教授(2023年3月退官)

## Filmography

## — 映画作品

『高校大パニック』(1976)/『1/880000の孤獨』(1977)/『高校大パニック』(1978・澤田幸弘監督との共同監督)/  
『狂い咲きサンダーロード』(1980)/『シャッフル』(1981)/『爆裂都市 BURST CITY』(1982)/『アジアの逆襲』(1983)/  
『逆噴射家族』(1984)/『ノイバウテン 半分人間』(1985)/『THE MASTER OF SHIATSU 指匠王者』(1989)/  
『TOKYOU BLOOD』(1993)/『エンジェル・ダスト』(1994)/『水の中の八月』(1995)/『ユメノ銀河』(1997)/  
『五条霊戦記/GOJOE』(1997)/『ELECTRIC DRAGON 80000V』(2001)/『鏡心』(2004)/『生きてるものはいないのか』(2011)/  
『シャニダールの花』(2013)/『ソレダケ that's id』(2015)/『蜜のあわれ』(2016)/『バンク侍、斬られて候』(2018)/  
『almost people』(2023) 横浜聡子・石井岳龍・加藤拓人・守屋文雄監督による新形式の映画作品

## — TVドラマ作品

私立探偵 濱マイク 第8話「時よとまれ、君は美しい」(2002年、日本テレビ系)/

ネオ・ウルトラQ 第1話「クオ・ヴァディス」、第4話「パンドラの穴」、第8話「思い出は惑星(ほし)を越えて」(2013年、WOWOW)



2

2: 『自分革命映画闘争』 2023年/日本/165分/1.85:1/カラー/5.1ch / ©ISHII GAKURYU

製作: 石井岳龍 KDUF 監督・脚本: 石井岳龍 撮影・照明・編集・VFX: 武田峻彦 音楽・音響スーパーバイザー: 勝本道哲/美術: 谷本佳菜子  
録音・音響編集: 折野正樹 助監督・劇中デザイン: 向田優 出演: 神戸芸術工科大学映画コース関係者有志